

## サンノプロコが各国の食品接触材料関連法規に準拠した安心・安全な消泡剤を開発 グローバル化対応のユニバーサル消泡剤として、幅広い用途に適用可能

三洋化成工業株式会社  
(証券コード：4471)

三洋化成工業株式会社（本社：京都市東山区、代表取締役社長：樋口章憲）は、当社子会社であるサンノプロコ株式会社（本社：京都市東山区、代表取締役社長：楡康治）が、各国の主要な食品接触材料関連法規に準拠した<sup>\*1</sup> 消泡剤『ノプタム 1790』を開発しましたのでお知らせいたします。『ノプタム 1790』は、食品接触材料を含む幅広い用途に適用可能なユニバーサル消泡剤で、高い消泡性と低ハジキ性を両立できることが特長です。食品に接触する可能性のある紙製品用のコーティング剤に使用可能で、耐水・耐油性の付与や酸素・水蒸気バリアといったコーティング剤の機能を維持することができます。

近年、使い捨てプラスチックを削減する取り組みが進められており、使い捨てのカトラリー、食器、食品包装容器などは、紙を使用する動きが強まっています。このような紙製品の表面には、内容物の水分や油がしみこまないための耐水性・耐油性や、内容物の鮮度を保持するための酸素・水蒸気バリア性などが、コーティングによって機能付与されています。しかし、そのコーティングした塗膜に欠陥があると外観が悪くなるだけでなく、水蒸気などが塗膜の欠陥部分を通り抜けるなどして、付与された機能が低下してしまいます。塗膜欠陥が生じる一因は泡であり、混入した泡が塗膜表面で弾けることにより、くぼみやピンホールなどが塗膜上で生じます。そのため泡を抑制する目的で、コーティング剤には通常は消泡剤が配合されています。また消泡剤には高い消泡性が求められますが、消泡性が高すぎると消泡剤そのものがコーティング剤の塗布・乾燥中にハジキの原因となることがありました。ハジキも泡と同様に塗膜欠陥の要因となってしまうため、消泡剤には高い消泡性だけでなく低ハジキ性も求められます。

サンノプロコは紙・パルプ、塗料、ラテックス、セラミックス、エレクトロニクス分野において消泡剤、分散剤、増粘剤、湿潤剤などの製造販売を行う機能化学品メーカーです。1966年の創業当初から様々な消泡剤を上市し、界面制御に関する豊富な知識と経験で業界をリードしてきました。これまでの知見を活用し、消泡性と低ハジキ性を両立するよう組成設計した消泡剤『ノプタム 1790』を開発しました。また、幅広い国・用途に使用いただけるよう、『ノプタム 1790』は「アメリカ食品医薬品局法規（FDA 21CFR）」、「中国食品接触材料規則（GB9865-2016）」、「欧州委員会規則（EU No. 10/2011）」、「日本食品衛生法」といった各国の食品接触材料関連法規に準拠した組成で構成しています。また、近年安全性への懸念が生じている多環芳香族炭化水素（PAHs）<sup>\*2</sup>についても配慮した設計を行っています。

近年、安全な材料に対する意識の高まりや、産業のグローバル化の進展により、幅広い国・用途に汎用的に使用できる製品のニーズが高まっています。『ノプタム 1790』は、サンノプロコがこれまで培ってきた界面制御技術を生かし、消泡剤としての機能のみならず、用途を問わず使用できるように設計したユニバーサル消泡剤です。各国の主要な食品接触材料関連法規に準拠しており、様々な分野の消泡剤としてグローバル化対応が可能です。サンノプロコおよび当社グループは、今後も、市場のニーズに応える高性能かつ環境負荷低減に貢献できる製品の開発を進め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

<参考>

※1 各国の食品接触材料関連法規のポジティブリストに記載されている組成で構成しています（組成上準拠）。食品接触用途での安全性について保証するものではありませんので、ご使用の用途における適正および安全性は、使用者の責任においてご判断ください。

※2 多環芳香族炭化水素（PAHs）とは、二つ以上の芳香環が結合した有機化合物のことである。国際がん研究機関（IARC）から、PAHsの多くに発がん性や遺伝毒性があることが指摘されており<sup>1)</sup>、人体に摂取される、または人体に接する物品について、PAHsを低減する規制や基準づくりが進められている<sup>2)</sup>。

1) 国際がん研究機関（IARC）: Agents Classified by the IARC Monographs

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

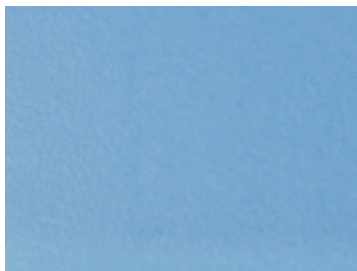
2) 食品安全委員会ファクトシート

[https://www.fsc.go.jp/sonota/factsheets/f05\\_pahs.pdf](https://www.fsc.go.jp/sonota/factsheets/f05_pahs.pdf)

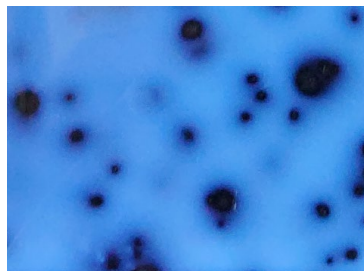
<塗膜欠陥の様子>



泡による塗膜欠陥



ハジキ・欠陥なし



ハジキあり

◆サンノプロ株式会社について

所在地：京都市東山区一橋野本町 11-1

代表取締役社長：榆康治

事業内容：紙・パルプ、塗料、ラテックス、セラミックス、エレクトロニクス用の各種工業用薬剤の製造販売

資本金：4億円[三洋化成 100%]

設立：1966年

連絡先：〒105-0003 東京都港区西新橋 1-1-1 日比谷フォートタワー24階

TEL：03-3500-3501 FAX：03-3500-3503

ホームページ：<https://www.sannopco.co.jp/>



以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三洋化成工業株式会社

経営企画本部 広報部

電話 075-541-4312

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/>